

避難所生活の長期化が心配な熊本地震 家族の一員であるペット同伴にも混乱が

この原稿を書いている5月15日現在、九州を襲った熊本地震の発生から1か月が経過しました。被災され、今もなお避難所での暮らしを余儀なくされる方々の苦難は、察するに余りあります。私たち松戸市議会としても、44名全ての議員から募った義援金をお送りし、一日も早い復興を強く願っております。

避難所生活の長期化が懸念される中、ペットを同伴しての避難者の方々に対して厳しい視線が向けられてしまっているという状況も、一部では生まれています。「人のための水や食料も豊富ではないのに、ペットに食料を与えるのか」といった意見や、鳴き声や排泄物に関するトラブルが続発。避難所を追い出されるといったケースも少なくないと言います。ペットの同行避難は、家族の一員として生活してきた方々にとっては、心のケアとしてとても大切です。松戸市では本年2月、「災害時のペット対策について」と題する案内文を作成。これは、ペットの飼い主とペットのいない方の双方に向けられたもので、同行避難の必要性と、そのために必要な心構えなどについて書かれています。熊本でも同様のマニュアルは以前からあったようですが、周知不足があった点は否めません。みのわ信矢は現在、災害対策強化の一つに、同行避難マニュアルの徹底を市と進めています。



松戸市議会6月定例会が6/10開会 みのわ信矢は一般質問を行う予定です

松戸市議会6月定例会が、6月10日から28日までの会期19日間で開催されます。6月議会では、本会議場における一般質問をはじめ、4部門で設置されている各常任委員会での議案審査などが行われます。

同議会において、みのわ信矢は、所属する教育環境常任委員会に付託された議案の審査を行うほか、一般質問のため登壇する予定です。質問内容は、○福祉タクシー券制度の改善、○災害対策の強化、などを中心に組み立てる予定です。議会はどなたでも、予約なしで傍聴できます。ぜひ議場・委員会室において下さい！



各駅で演説しています！

地域との対話と交流こそが政治の原点と考えるみのわ信矢は、通勤時間帯の駅で街頭演説をしています。常盤平、八柱、五香、みのり台。そのどこかでお見かけの際は、ぜひお声がけください。みなさんからの声援を励みにがんばります！



みのわ信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部

HPもご覧ください！ [みのわ信矢](#) [検索](#)

連絡先：松戸市常盤平西窪町20-16